



株式会社 常栄技巧

じょうえいぎこう

防水専門業の巧みな技術で施工

屋上やベランダなどの、建築の仕上げに行われる防水工事の専門会社。防水をする面の素材や下地の状態を見極め、塗膜やシートなど、たくさん種類のの中から適切な方法で施工する。代表取締役の柳原博文さんは、社名を『常に栄える』という意味で命名し「建物全体を長持ちさせるためには、しっかりと防水工事をするのが欠かせません。巧みな技術で仕事をするのが次の仕事につながります。従業員には、仕事を楽しみながら、自分自身と会社の発展のために頑張ってもらいたいです」と話す。



代表取締役 柳原 博文さん (43)

水を100%漏らさないのが防水

「防水業とはどのような業務ですか？」

防水業は建築の仕上げの部分であり、工事全体に対してほんの少しの部分かも知れませんが、水を100%漏らさないために重要な仕事です。学校や病院などの平たい屋上や民家のベランダ、橋などにもコンクリートの上

に防水工事が行われています。橋はその上にアスファルトの舗装がしてあります。防水は種類も多く、用途に合わせた仕事になります。防水をする面の素材や下地の状態によってやり方は違います。メーカーさんからの信用がないとなかなか代理店にはなれないのですが、県内では当社を含む4社のみ塩化ビニール防水の老舗・ロンシール工業の代理店として材料を取り扱っています。これまで、上市町では学校や保育所、橋、丸山総合公園、野球場の観覧席、県内では立山黒部アルペンルートの大観峰駅やカルデラ砂防博物館など、県内外で数多くの施工をしました。ほかに、住宅の防水や塗装も行うほか、民家で雨漏りしたという相談の電話がかかってくることもあります。仕事をすることには自然が相手なんです。雨や風、気温など天候に左右され、雨が降るとできないことが多いため、天気を考慮して仕事の段取りをすることが大切です。その分、仕上がった時は大きな達成感があります。



従業員みなさん。中央が柳原社長

チームワークのある職人集団

「従業員の方をどう育てておられますか？」

「親しい仲にも礼儀あり」と考え、叱る前には必ずねぎらいの言葉を伝えます。大事なのは「ケレン（塗装する前の下準備として塗装する場所の表面を清掃し、塗装をはがれにくくする重要な作業）」です。自分がまずやってみてから従業員にやらせて感覚を見る、その繰り返しです。従業員にはいつも、お客さんの家に入ることもあるので「道徳的なところはしっかり守るように」と言っています。仕事をすることには、身だしなみを整え、あいさつをしっかりとるように指導しています。社会にはいろんな人がいますが、人とし

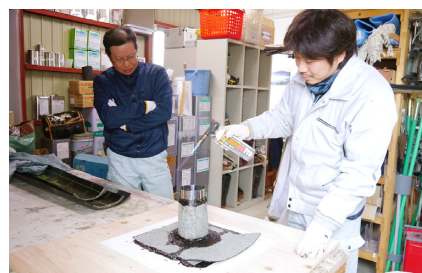
てできて当たり前のことを当たり前にできるように、いつも言っています。当社は小規模ですが、少人数だからこそチームワークがある職人集団で、進化している最中です。仕事は人生に必ずついて回るもので、仕事を楽しみながら、自分自身と会社の発展のために頑張ってもらいたいのです。また、うちの従業員だけじゃなく、20代・30代の若い人に頑張ってもらいたいと考えています。僕たち40代が頑張る姿を見せて「あの人がみたいになりたいな」と思ってもらえれば、次世代で活躍する人が現れ、活性化していくと思っています。若者達は失敗してもいい。やる気・元氣さえあれば頑張れると思いますよ。

取材日誌

柳原さんは自分で「あまり深くは考えないタイプ」だと言われましたが、若手の育成、今後の展望など、先を見据えて行動されているのが伝わり、勉強になりました。福利厚生として、誕生日前後の1カ月に取得できる「誕生日休暇」や「お年玉」などがあるそうです。従業員の方との距離が近く、楽しい会社だと感じました。



社内で仕事中の柳原さん



技術向上のため練習する様子



仕事はほぼ手作業で行う

■ 株式会社 常栄技巧

住所 上市町久金43-1
TEL 076-473-1706
FAX 076-473-2012
代表取締役 柳原 博文



さらに詳しく知りたい方はこちら ▶ <http://kamiichi-job.net/shop/4930>